静岡市 いきもの散策マップ

世界文化遺産

三保・羽衣の松コース

しょくぶつ

浜辺の植物

● ハマヒルガオ

砂浜上にはうつる植物で、5～6月にあわいもも色のラッパ型の花を咲かせます。

● ハマダイコン

中国原産のダイコンが、砂浜に広がったもので3～6月にあわいもも色の花を咲かせます。

● ハマエンドウ

砂浜に生えるマメの仲間です。4～5月に紫色の花を咲かせます。

● ケカモノハシ

砂浜などの海岸に生えているイネの仲間で、7～9月に丸い穂状の花を咲かせます。

● ハマゴウ

砂地の海岸や河原で、地下茎が砂中に長く太く横たわり、大きくなります。7～9月に紫色の花を咲かせます。

● ツルナ

砂浜に生えるつる植物です。葉は厚く、一部の地域では食用にされます。4～11月に小さな花をつけます。

● コウボウムギ

砂浜に生えているカヤツリグサの仲間で、5～7月に太い穂をつけます。かつて、茎の繊維から筆をつくりました。

● カワラナデシコ

河原、海岸の砂浜、草地に生えています。7～10月にあわい紅色～もも色の花を咲かせます。

松林近くの植物

● ヘクソカズラ

山野から人家付近まで見られるつる植物で、8～9月に中心が赤紫色で花びらは白色の花をつけます。

● ヤクシソウ

キクの仲間で、林のまわりに生えています。9～11月に黄色の花を咲かせます。

● クズ

マメの仲間のつる植物で、日当たりのよいところに生えています。8～9月にこい紫色の花を咲かせます。秋の七草のひとつです。

● トベラ

常緑の小さな木で、海岸近くから、河川沿いなどに見られます。5月に白い花を咲かせます。

● コバンソウ

ヨーロッパ原産のイネの仲間で、7～9月に小判型の穂をつけることからこの名があります。

● テリハノイバラ

小さな木で、6～7月に白い花を咲かせます。崖地や岩場のほか、河原や海岸でも生えています。

● スミレ

陽当たりのよいところに生えています。3～5月に紫色の花を咲かせます。

● クロマツ

潮風に強く、主に海岸に自生するマツで、アカマツとくらべ樹皮が黒っぽくなります。

アクセス情報

【バスでのアクセス】（JR 清水駅より）

しずてつバス清水駅前バスターミナル 3 番線より「三保山の手線（三保水族館、 三保車庫前）」に乗車。

羽衣の松まで

1.「三保松原入口」で下車（清水駅より約 20 分）。

2. 徒歩約 20 分で羽衣の松。

（※土日祝日は、「三保山の手線（世界遺産三保松原行）」に乗車すると、終点が羽衣の松です。）

清水灯台まで

1.「三保本町」で下車（清水駅より約 25 分）。

2. 徒歩約 25 分で清水灯台。

緊急連絡先

- **静岡県救急医療情報センター TEL&FAX：0800-222-1199**
  （ 休日・夜間当番医を教えてくれます。24時間対応 ）
- **消防　119 番**
- **警察　110 番**

注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりしておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク

発行者：**静岡市清流の都創造課**

〒420-8602　静岡市葵区追手町５番１号

TEL：054-221-1357　FAX：054-205-2666

制作年：平成 26 年２月

とり

浜辺のとり

● コアジサシ

全長28㎝くらいで、繁殖のため春に本州に渡ってきます。夏には、くちばしが黄色、脚はオレンジ色になります。

● イソヒヨドリ

海岸のテトラの上などで見られます。虫を主食とし、オスは青い色ですが、メスは地味な色をしています。

● ウミネコ

基本的には冬に見られるカモメの仲間で、鳴き声が「ミューミュー」とネコの鳴き声に聞こえるのでこの名があります。

● ハクセキレイ

セキレイの仲間で、体の色が灰色で、顔は白い。水辺だけでなく、街中でも見かけます。

● オオミズナギドリ

春から夏にかけて沖合の波の上をすべるように飛びます。つばさを広げると1ｍ以上にもなります。

● ミサゴ

全長50～60㎝くらいのタカで海岸のほか、内陸部の湖沼、広い河川、河口等にもすんでいます。

● カワウ

魚を主食とする大型の水鳥です。近年数が増えてあちらこちらで見られるようになっています。

● トビ

全長 60 ㎝くらいのタカの仲間です。トンビとも呼ばれ、輪を描きながら空高く飛びます。「ピーヒョロロロ」と鳴きます。

松林中のとり

● ツグミ

冬鳥として大陸よりわたってくるハト大の鳥です。木の実や果物などを食べ、春に北へ帰ります。

● ヒガラ

全長10～13㎝で、背と頭は黒く腹は薄い褐色です。「ツピチ、ツピチ」または、「チョピ、チョピ」と鳴きます。

● オナガ

尾の長いカラスの仲間です。群れていることが多く、静岡市内では三保半島でよく見られます。

● ヤマガラ

全長 13～15 ㎝くらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツピー、ツツピー」と鳴きます。

● キジバト

全長 33 ㎝くらいで、くびに青色をおびた灰色の模様があるハトです。平地から山地の林や、市街地などに見られます。

● ビンズイ

夏は高山などで繁殖し、冬は低地の松林などで過ごします。尾をセキレイのように上下に振ります。

● コゲラ

全長 15㎝くらいの小型のキツツキで、「ギィー、ギィー」と鳴きます。木の皮の下の虫をつついて食べます。

● カワラヒワ

全長 15 ㎝くらいの小鳥で、黄褐色で、太い嘴と翼に黄色が混じっています。雑木林や人家周辺に１年中見られます。

むし

● アオスジアゲハ

黒地のはねに水色の筋があり、とても速く飛ぶアゲハチョウの仲間です。幼虫はクスノキの葉を食べて育ちます。

● イチモンジセセリ

2㎝ほどのチョウで、5～10月に見られるもっとも普通のチョウで、花によく集まります。

● ベニシジミ

3㎝くらいになる小さなチョウで、堤防や畑のまわりなどでよく見かけます。成虫は３～11月に発生します。

● クマバチ

体長２㎝を超えるミツバチの仲間で、黄色の胸部以外ははねも含め黒いずんぐりとしています。初夏から秋に見られます。

● シオカラトンボ

はねを広げると7㎝くらいになるトンボの仲間で、平地から低い山地にふつうにみられます。メスはムギワラトンボとも呼ばれます。

● オンブバッタ

緑色の大きなメスの背に小さなオスが乗っていることが多いです。原っぱなどで8～12月に見られます。

● ショウリョウバッタ

オスで5㎝くらい、メスで８㎝くらいの大きなバッタです。雄は飛ぶときにキチキチと音を立てキチキチバッタとも呼ばれます。

● トノサマバッタ

緑色または褐色で、はねは濃茶色と白色のまだら模様の大きなバッタです。７～11月に、空き地や河原などで見られます。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう　検索

静岡市が運営するウェブサイト**「しぜんたんけんてちょう」**では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を１つの地図に落とし込んでいき、共有しています。

ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください！！(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)